

第3期中期計画における重点戦略目標

《重点戦略目標 1》  
 社会で活躍する応用力・実践力を備えた  
 高度人材の育成

■全学教員による教養・基礎教育等の充実

- [大学]  
 ○アクティブラーニングを活用した科目の拡充<3>  
 ・文科省事業「大学教育再生加速プログラム(AP)」を通じて、共同知識構築システム(meaQs)を授業支援システム上で稼働させ、利用が拡大(前期:19科目、後期:18科目)  
 ・アクティブラーニングを導入する授業科目割合:14%(H28年度:10%)  
 ・学生1人当たりの上記科目に関する授業外学習時間:5.3時間(H27年度:4.3時間)  
 [高専]  
 ○アクティブラーニングを活用した教育を進め学生の主体的な学習を促進<33>  
 ・校長奨励研究費において、「府大高専におけるアクティブ・ラーニングの推進」を採択し、研修等へ参加。また、アクティブラーニング対応教室を整備。

■地域志向型のカリキュラムに基づく教育の推進

- 副専攻「地域再生(CR)」(大学COC、COC+事業)を開講<5>  
 ・延べ受講者数1,237名(受講科目:地域実践演習、アゴラセミナー I A、I B、II)  
 ・COC+事業において和歌山大学との単位互換協定に基づき、「アゴラセミナー I B(地域・文化)」を提供。CR副専攻の修了者数は累計63名(H28年度分含む)

■リーディング大学院プログラムの全学展開を通じた産学協同での人材育成推進

- 「イノベーション創出型研究者養成(TEC)」及び「TEC I ~IV」を大学院共通科目として実施<8>  
 ○リーディング大学院修了生6名のうち、4名が産業界へ就職、2名がポスドク(1名海外)<8>

■諸機関と連携した地域課題解決に向けた取組の推進、人材の育成

- 「地域スポーツ振興」クラスが堺市の「堺ソーデーマーチ」に、「地域活動演習」クラスで大阪府「副首都・大阪の未来像」調査・検討活動に、「地域実践演習」クラスが様々な地域イベントに参加<28>  
 ○大阪府と協働し、「民生委員・児童委員見える化プロジェクト」に学生12名が参加<28>

《重点戦略目標 3》  
 グローバル展開に向けた環境の整備

■海外派遣プログラムなど留学支援の強化

- [大学]  
 ○「海外留学チャレンジ奨学金制度」(実績70名)、「国際学会PLUS奨励金制度」(実績51名)を新たに創設し、学生の海外派遣を支援<10>  
 ○「トビタテ!留学JAPAN」に第7期2名、第8期2名が採択.<10>  
 ○工学域において、ユニバーサル人材育成プログラムを継続して実施し、2名が修了.<9>  
 ○海外派遣学生数:218名(目標数:200名)<10><29>  
 [高専]  
 ○海外インターンシップに7名が参加<36>  
 △神戸高専と連携して実施した、ニュージーランドのオタゴポリテクニク短期留学に13名が参加(目標15名)<37>

■アセアン地域諸国などのアジアの大学を中心とした相互交流の推進

- 「泰日工業大学留学生支援事業」において、H29年度は4名の留学生を受入。H28年度に事業参加した留学生2名がインターンシップ先企業に就職<30>  
 ○華東理工大学及び福州大学(ともに中国)との学士課程ダブルディグリープログラムを継続実施。特別編入学試験において、華東理工大学から2名、福州大学から4名が合格<30>  
 ○受入れ留学生数:319名(目標数:300名)<30>  
 ○学術交流協定大学・機関数:169校(H28年度:165校)<29>

■キャンパス内での多文化交流の活性化

- [大学]  
 ○外国人招へい教員事業を実施し、10名を招へい(目標数:10名)<29>  
 [高専]  
 ○専攻科において、泰日工業大学からの留学生4名を受け入れ<38>  
 ☆外国からの大学ゲストプロフェッサーによる講義を専攻科において実施<38>

■国際的な共同研究・海外からの研究資金の拡大

- 在外研究員派遣事業において、3名の教員を派遣(年間目標2名)<19>  
 ☆海外大学等研究機関との研究交流事業に対する支援制度を創設<29>  
 ☆アジア5大学(韓国、中国、台湾)による合同シンポジウムを実施し、216名が参加<29>

《重点戦略目標 2》  
 大阪からのイノベーションに繋がる研究の推進

■現代社会の課題解決やイノベーション創出に向けた、先端的な研究や異分野融合による研究、共同研究の推進

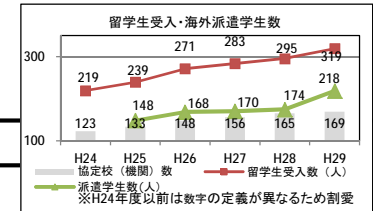
- [大学]  
 ☆研究力の向上のため、「大阪府立大学「研究戦略」」を策定<19>  
 ○科研費特定支援事業(「StepUp事業」)を創設し、採択者ごとに担当コーディネータを決定し、支援体制を構築(応募総数46件、採択件数21件)。秋の科研費申請において全員ステップアップの申請を実施<19>  
 ○「大阪府立大学キーププロジェクト」4件をH28年度から継続して実施<19>  
 ○各部署において、部局長裁量経費等によるインセンティブ事業を実施<19>  
 [高専]  
 ○若手研究者シーズ育成事業を実施し、2件の研究シーズに200万円を支援<45>

■分野横断型の研究体制の拡充。企業や他大学等と連携したオープンイノベーションの推進

- 21世紀科学研究所の48研究所において、先端的、異分野融合の研究を推進<20>  
 (参考教員延べ数:656名、うち客員研究員受入延べ数:127名)  
 ○オープンアクセス方針の運用を開始し、研究成果を積極的に発信<21>  
 ○クロスアポイントメント制度を創設し、2件実施<21>

■「大阪のシンクタンク」として、政策課題に対応した共同研究等の実施

- [大学]  
 ○大阪府内の自治体と共同事業・研究を計11件実施<27>  
 ○府内中小企業のサポインの獲得支援を実施(申請6件・採択2件)<24>  
 ○共同研究・受託研究数457件<24>  
 [高専]  
 ○MOBIOにおける産学連携オフィスにおいて、技術相談145件に対応<46>



取組を支える基盤

◆様々な経営資源の強化・活用

■理事長・学長のトップマネジメント

- データに基づく意思決定を推進するため、IR推進室を設置<49><59>

■教職員の能力と専門性向上

- 従来からの職員研修に加え、英語研修を新たに実施<54>  
 ◎高等教育推進機構において、各種FDセミナーを実施<12>

■女性教員の積極的採用・登用

- 新規採用において、女性限定公募を実施するなど、積極的に採用(17名中8名、47%、目標30%)<51>  
 ○「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業の中間評価において、S評価を獲得<51>

■リスクマネジメントの強化

- 情報セキュリティ強化のため、「大阪府立大学情報格付け取扱手順」を4/11に施行。情報セキュリティ監査を実施<69>  
 ○情報格付け取扱手順説明会等の研修を実施<69>

■若手研究者の確保・育成

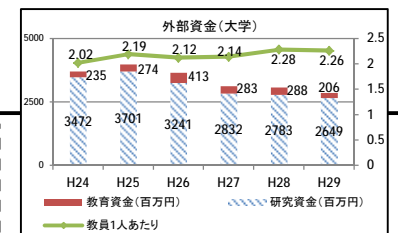
- テニュアトラック制度を継続実施(拠点型4名、部局型22名)し、テニュアトラック教員を主な対象としたFD研修カリキュラムの大枠を策定<51><54>  
 ○教員の新規採用について、原則国際公募を実施<51>

■戦略的広報によるブランド力の向上

- ☆受験生・高校生に向けた“やりたいこと”探索サイト「Find Out!!」を開発<62>  
 ◎Webサイト、ソーシャルメディアを活用し情報発信<62>

■財政基盤の強化

- 外部資金の確保:1,427件、2,855百万円<22>  
 研究資金:1,409件 2,649百万円、教育資金18件 206百万円  
 ○「世界に羽を伸ばす基金」寄付金6,500万円<56>  
 ○高額研究機器の学内共同利用料金制度を拡充(5機器→39機器)<55>



その他の取組

[大学]

- 専門職種に係る国家試験について、教育内容・方法を充実し、高い合格率を達成<4>  
 ○「siteなんば」を活用し、社会人向け講座を充実<26>  
 ・利用実績:1,049件(うち公開講座・シンポジウム数200件、学会・研究会319件)  
 ・「まちライブラリー@大阪府立大学」において、アカデミックカフェを12回開催し、延べ244名が参加

[高専]

- 学校説明会を4回開催(中学生418名、保護者494名参加。目標 中学生200人保護者300人)、体験入学を開催(中学生274名参加。目標 200名)するなどの広報活動を実施<31>  
 ○専攻科において、大学教員の特別講義や研究室見学、修士論文発表会への参加を実施するなど大学との連携機会を拡大<35>